

混陽

第57号

平成30年9月30日
書道研究 混陽会

〒524-0037
滋賀県守山市梅田町1-7
(守山駅西口から
北へ約100m)
URL: <http://www.kouyoukai-sho.com/>

編集人：改発蒼風



第三十九回 混陽書道展に向けて

第三十九回混陽書道展に向けて、各教室から集まった作品が、成人の部は七月二十九日、生徒部は八月十八日に出品されました。
生徒部は、同日に賞も決定しました。

一字書作品 選別風景



↑成人選別会の様子



生徒部選考会 ↑



滋賀読売競書大会 表彰式

第十回滋賀読売競書大会(滋賀書作家協会主催)の表彰式が、四月三十日、大津市歴史博物館で行われ、金賞以上の方々が授賞式に参加されました。
*『滋賀書作家協会会員展』『シルバー書道展(日本書芸院主催)』同時開催。
幼児から一般まで三五六八点の出品があり、各世代の入賞作品三七八点が展示されました。
混陽会からは、読売大賞二名・第十周年記念賞二名・金賞七名・銀賞二十三名、合計三十四名の方々が入賞され、混陽会は昨年に続き優秀団体賞を受賞しました。
(各受賞者のお名前は、前号『混陽』五十六号をご参照下さい)

滋賀読売競書大会授賞式



第三十九回 混陽書道展
会期：十月十二日(金)～十四日(日)
九時半～十七時(最終日は十五時迄)
授賞式：十月十四日(日)
会場：草津市立草津クレーアホール 展示ホール
J・R 琵琶湖線「南草津駅」下車 東口徒歩一〇分

受賞者報告

【玄心書道展】

兵庫県知事賞・書人賞… 木村静宵

【読売書法展】

特選…伊部芳翠・木村香雪
秀逸…改發蒼風・木村静宵・宮崎恵舟
入選…井狩遊雪・井上照華・織田蒼雪
河野翠風・土田純香・引間京華
人部京翠・山川桐葉

生徒部八段位合格者（二〇一八年三月実施）

城北教室	中二年	加納 優	毛筆
守山駅前教室	中二年	宮本萌生	硬筆
	中二年	大黒叶乃	毛筆
	中二年	小林千織	毛筆
蒲生教室	中二年	川島ゆらん	毛筆
遊雪守山教室	中二年	秋山拓臣	毛筆
彦根稲枝教室	中三年	西山千晴	硬筆
湖城教室	中二年	樋口友香	毛筆
	中二年	山田凜音	硬筆
	中三年	佐々木乃愛	硬筆

おめでとうございます！

◎八段位を合格された方の中から、今回お二人の作文課題を掲載させていただきます。

◆わたしと習字

守山駅前教室 中二年 小林千織

私は小学校二年生のとき習字を始めました。きっかけは友達が習っていて、自分もやってみたいと思ったからです。習い始めて少したつと、普段はあまり出来ない毛筆も始まり、習字をしていて楽しいと思うことが増えました。

中学生になってからは、書道部に入部し、市の大会から全国の大会まで色々なコンクールに出品しています。全国の大会に出品するときは、部員のほとんどが賞を諦めたなか出品していました。私もそのうちの一人で、全国から作品が集まるのに、賞を取れるはずがないだろうと思っていました。しかし、部員のみんなが弱気な発言をしながらも一生懸命作品を仕上げている姿を見て、私も頑張れるだけ頑張ろうと思いました。すると、第六十回全国硬筆作品展覧会で研究会賞を取ることが出来ました。一緒に頑張った部員にも祝福してもらい、自分に少し自信がつかえました。

書道はスポーツに例えると、個人競技のようなものですが、部活動ではお互いに良い刺激を与え合い、団体競技のようでもあります。

私はこの六年間習字を続けてきて、自分が納得出来ない作品もあつたけれど、たくさんの方の指導を受けながら書道の楽しさを見つけられました。頑張つて続けてきたので、高校生になつても書道部に入り、今まで書いたことのないような作品に挑戦し、もっと書道の楽しさを見つけていきたいです。

◆わたしと習字

守山駅前教室 中二年 大黒叶乃

私は、小学校一年生の六月から習字教室に通っています。小学校の書写の硬筆の授業で上手く作品を仕上げる事が出来ず、悔しい思いをした時に、家族に勧められたのが、習字を始めたきっかけでした。

小学三年生になると、毛筆を始めました。当時は、筆を思うように動かす事がとても難しかったけれど、先生に教えて頂き段級位が上がる嬉しさを感じていました。段級位が上がるたびに、もっと上手になりたいという気持ちも強くなり、少しずつ上達することが出来ました。

習字を習い始めた頃は、お手本を見て文字を書くことだけに集中していましたが、学年が上がるにつれてお手本と自分の字を比べ、どこをどうしたら綺麗に書けるのかを考え、少しずつ改善出来る様に一枚一枚丁寧に仕上げる事を心掛けています。他にも上手な人の作品を見て自分が出来ないところを真似してみたり、自分が納得出来るような字が書けるまでたくさん練習したりと、字を綺麗に書くことを意識し、習字に対する意欲も高まっていきました。

これからは、さらに習字の技術を磨き、毎日のように書いていく字が、今以上に綺麗に書けるように先生の教えやアドバイスを大切にして、自分の字に自信が持てるように一生懸命頑張りたいと思います。



教室紹介 十王教室

講師・改発蒼風

昨年の十一月から井狩先生より教室を引き継ぎ、十王教室の講師をしています。こちらの教室は、大人も子供も同じ時間帯に來られます。

テーブルを向かい合わせに並べて一緒に練習しており、小学生は、中学生や大人の書く作品に興味を持ち、大人は、学生を温かく見守るような、穏やかな雰囲気のできる教室です。

これからも、書の技術の向上とともに、書道が楽しいと思つて教室に通つていただけるように心掛けていきます。



統一テーマ「笑」



第六回 華と書のコラボレーション
【四月十四日・十五日 守山市民ホールにて開催】

調和体講座 守山駅前教室 山川桐葉

岡田先生の調和体講座も、はや四年目となりました。半切く半切1/2、1/3のタテ、ヨコ、色紙：色んなサイズで、いつもとても素敵なお手本を書いて頂いています。昨年は五人に減ってしまった受講者も、今年は四人増え九人となりました。潤滑を考え、緩急をつけ、余白を考えて…書くこともだけれど、書いた後に見る事、眺めることも書くことと同じくらい大事。自分の作品、他人の作品の、ここが良い、ここがダメと言える目を養うことを教えて頂いています。難しいのですけど…

二ヶ月に一度の機会ではありますが、内容の濃い三時間で、岡田先生も「自分とこの弟子にもこんなに丁寧に教えてないで…」とおっしゃるくらい、色んなことを学ばせて頂いています。初心者だからと遠慮されず、よければ来年度一緒に学ばれませんか？お家に飾れるサイズの素敵な作品が出来ますよ。



ちよっと一休み♪



← 印矩

印矩のマメ知識

印矩の使い方



印矩(いんく)は、印を押そうとする場所へ正しく押す為に使用する定規の役目を果たす道具です。

ステップ①

作品を書き終え、署名を終えると印を押す段階です。

まずは、『印影(いんえい)』を作ってください。

『印影』とは、作品と同じ紙に使用する印を押し、その印の形に切り抜いたものを指します。

この『印影』を使って、実際に印を押す位置決めを行います。

ステップ②

『印影』を作品の上に置き、印を押す位置を決定します。いろいろな位置に置いてみて、ちよっと離れて作品全体を見渡し、印の納まりが良い場所を探します。

※「印を押すのはここしかない!」という場所はおのずと決まってきましたが、それには経験が必要。様々な作品を観賞したり、先輩や先生のアドバイスを受けながら勉強していただく。何度も何度も経験されると、作品を書き終える段階で、「印はここに押す。」ということが決まるようになると思います。

ステップ③

印を押す位置が決まりました。『印影』はその位置から動かさずに『印矩(いんく)』を用意します。

『印影』が動かないように気をつけながら、『印矩』を『印影』の印の形に添わせるような感覚で置きます。

ここからは、せっかく位置決めをしたのが水の泡にならないように『印矩』が動かないように注意してください。

ステップ④

『印矩』がズレないように気をつけながら、『印影』を外します。

印に印泥をつけます。

ステップ⑤

さあ、印を押します。

左手で『印矩』が動かないようにしっかりと抑え、印を『印矩』に這わせるような感覚で、右手で印を押します。

※印を押した後も『印矩』は動かないように注意してください。

印のつき具合が薄い場合、このまま印泥を付け直して再度同じ位置に印を押すことが可能です。

◆ 編集後記 ◆

いよいよ混陽書道展が近づいてきました。今年度は猛暑が続く、暑さと闘いながらの作品づくりになりました。会場も草津クレアホールになり、どんな作品展になるのか楽しみです。【MK】

【 今後の行事予定 】

月	日	曜日	内 容
10	7	日	調和体講座
	11	木	混陽書道展 準備
	12~14	金~日	混陽書道展(14日撤収)
	21	日	古筆講座
11	10	土	執行役員会
	18	日	古典講座
12	2	日	調和体講座
	16	日	古筆講座

『印矩』には、表面と裏面があるのをご存知ですか? 『印矩』には、面取りをしている面としていない面があります。普通なら面取りしてある方が表面だと思ってしまうのですが、『印矩』の場合は面取りをしている方が作品に接地する面で、面取りをしていない方が手で押える面です。両方共に面取りをしている商品もありますが、これは親切な商品ですね。面取りをしていない面が作品と接地していると、印を押して印矩から印を外す際に、印泥の色が作品に引きずってしまう可能性が高くなります。その為に印矩が作品と接地する面には面取りを施しています。

書遊 Online (<http://shoyu-net.jp/>) より

